

# DX人材の育成のご案内

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、**デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくり**に取り組むことが重要となります。

DX対応コースでは、訓練目的・分野による分類とは別に、共通領域として「DX推進に向けたスタートコース」、「ネットワーク・セキュリティに関するコース」を設け、また個別3つの課題対応として「デジタル化と新たな生活様式の課題への対応」、「業務プロセスの課題への対応」、「ビジネスモデルの課題への対応」に分類して中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。



## このような課題に対応します！



DX対応コース一覧は裏面をご確認ください

## 実施の概要

### 訓練コースの決定

センター担当者が訪問し、相談内容を踏まえて課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

### 訓練内容をカスタマイズ

カリキュラムモデルを基に、事業主様が抱える**課題やニーズに応じた訓練内容にオーダーメイドでカスタマイズ**します。

### 訓練受講

所定の期日までに受講料の支払い等の手続きを行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

### 受講対象者

事業主の指示を受けた在職者の方

### 訓練日数

1～5日 (6～30時間)

### 受講料 (1人あたり・税込)

2,200円～6,600円

### 訓練会場

自社会議室等で実施可能  
(講師を派遣します)

DX対応コースの詳細を聞きたい・訓練のご相談など、お気軽にお電話ください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構京都支部

**ポリテクセンター京都** 生産性向上人材育成支援センター

TEL : 075-951-7434 FAX : 075-951-7393

HP : [https://www3.jeed.go.jp/kyoto/poly/biz/seisan/seisan\\_order.html](https://www3.jeed.go.jp/kyoto/poly/biz/seisan/seisan_order.html)



# DX対応コース一覧 全58コース (2023年4月現在)

## DX推進に向けたスタートコース 3コース

1. DXの推進
2. DXの導入
3. DX人材育成の進め方

## ネットワーク・セキュリティに関するコース 8コース

1. IoT導入に係る情報セキュリティ
2. ネット炎上時のトラブル対応
3. 社内ネットワークに役立つ管理手法
4. 情報漏えいの原因と対応・対策
5. eビジネスにおけるリーガルリスク
6. ワイヤレス環境に必要となる無線LANセキュリティ
7. 脅威情報とセキュリティ対策
8. テレワークに対応したセキュリティ対策

### デジタル化と新しい生活様式の課題への対応 18コース

### 業務プロセスの課題への対応 22コース

### ビジネスモデルの課題への対応 7コース

#### 生産・業務プロセスの改善

1. POSシステムの活用技術
2. ITツールを活用した業務改善
3. 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解
4. 企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント
5. ビッグデータ活用
6. RPAを活用した業務効率化・コスト削減
7. RPA活用
8. テレワークを活用した業務効率化
9. テレワーク活用
10. データサイエンス入門

1. 在庫管理システムの導入
2. 物流のIT化
3. 流通システム設計
4. 物流システム設計
5. 卸売業・サービス業の販売戦略
6. クラウド活用入門
7. クラウドを活用したシステム導入
8. クラウドを活用した情報共有能力の拡充
9. IT新技術による業務改善
10. AI(人工知能)活用
11. 失敗しない社内システム導入
12. 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用

1. 3PLとSCM
2. SCMの現状と将来展望
3. IoT活用によるビジネス展開
4. データ活用で進める業務連携
5. ベンダーマネジメント力の向上

#### 横断的課題

11. テレワーク業務における労務管理

6. IoTを活用したビジネスモデル
7. ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合

#### 売上げ増加

12. オンライン営業技術

13. マーケティング志向の営業活動の分析と改善
14. 統計データ解析とコンセプトメイキング
15. インターネットマーケティングの活用
16. プロモーションとチャネル戦略
17. チャンスをつかむインターネットビジネス
18. 顧客分析手法
19. 顧客満足度向上のためのCS調査とデータ分析

#### IT業務改善

13. 効率よく分析するためのデータ集計
14. ピボットテーブルを活用したデータ分析
15. 品質管理に役立つグラフ活用
16. 表計算ソフトを活用した統計データ解析
17. SNSを活用した情報発信
18. オンラインプレゼンテーション技術

20. データベースを活用したデータ処理(基本編)
21. データベースを活用したデータ処理(応用編)
22. データベースを活用した高度なデータ処理